

作成日 2013年 08月 07日

改訂日 2025年 09月 08日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品の名称 ユニバーサルACダイインジェクタ
製品コード Y69721、Y69700
会社名 アサダ株式会社
住所 愛知県名古屋市北区上飯田西町3-60
担当部門 営業本部
電話番号 052-911-7165
FAX番号 052-914-2062
メールアドレス sales@asada.co.jp
緊急連絡電話番号 052-911-7165 (月曜日から金曜日の8:30~17:00)
推奨用途及び使用上の制限 漏れ検知

2. 危険有害性の要約

GHS分類
重要危険有害性及び影響 GHS分類基準に該当しない。
GHSラベル要素
絵表示又はシンボル 無し
注意喚起語 無し
危険有害性情報 GHS分類基準に該当しない。
注意書き
安全対策 非該当
応急処置 非該当
保管 非該当
廃棄 非該当
ほかの危険有害性 情報なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

成分名	CAS No.	化学式	官報公示整理番号	成分及び含有量% (質量比)
蛍光剤	非公開	-	-	残部
ポリオールエステルオイル	非公開	-	-	50-100

4. 応急措置

吸入した場合	新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること 気分が悪い時は、医師の診察/手当を受けること
皮膚に付着した場合	直ちに汚染された衣服を脱ぎ、皮膚を大量の水と石鹼水で洗う。 皮膚の炎症が続く場合は、医師の診察/手当を受けること 再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用 して容易に外せる場合は外すこと。 その後も洗浄を続けること。 症状が続くようであれば、医師の診察/手当を受けること
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 気分が悪い時は、医師の診察/手当を受けること
医師に対する特別な注意事項	情報なし

5. 火災時の措置

適切な消化剤	泡、二酸化炭素、粉末消化剤、散水
使ってはならない消化剤	棒状の水を使用しない 還元剤と酸化剤
火災時の特有の危険有害性	燃焼生成物への曝露は健康に害を及ぼす場合がある。 火災が発生した場合、一酸化炭素が発生する可能性がある
特有の消火方法	消火作業は可能な限り風上から行う。 火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。 大規模火災の際には、泡消火薬剤を用いて空気を遮断することが有効である。 注水は火災を拡大して危険な場合がある。
消火活動を行う者の特別な保護具 及び予防措置	適切な空気呼吸器、化学用保護具を着用する

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 保護具及び緊急時措置	密閉された場所に立ち入る前に換気すること。 適切な空気呼吸器、防護服を着用すること。 関係者以外の立ち入りを禁止すること。 熱、火花、炎、電気、衝撃、摩擦などの発火源となるものを 排除する。 風上から作業をすること。
環境に対する注意事項	下水道や公共水域への侵入を防ぐこと。
封じ込め及び浄化の方法及び機材 二次災害の防止策	乾燥砂、土、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する 環境規制に従って汚染された物体および場所をよく洗浄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

取扱いには適切な保護具を必ず着用し直接の接触を避ける。

取扱いは換気のよい場所で行う

容器から取り出す時には適切な道具を使用すること。

また、口の中に入れたり、食べたりしてはならない。

急所排気・全体換気 注意事項

製品より発生する蒸気は空気より重く滞留しやすいので、みだりに蒸気を発散させないとともに作業場所の換気を十分に行う。

密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用する。

安全取扱注意事項

蒸気の発生を防ぐため、十分な換気を確保する。

取扱い後はよく手を洗い、うがいをすること。

適切な空気呼吸器、防護服を着用すること。

目、皮膚、衣服との接触を避けること。

飲み込まないこと。

接触回避等の

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気を吸入しないこと。

強酸化剤と接触すると反応する可能性がある。

安全取扱注意事項

衛生対策

作業中は飲食、喫煙をしない。休憩場所には、手洗い、洗眼等の設備を設け、取扱い後に手、顔等をよく洗う。

また、休憩場所には、手袋等の汚染された保護具を持ち込んではない。

保管

安全な保管条件

直射日光を避け、換気の良い場所に保管する。

酸化剤から離して保管すること。

(適切な保管条件及び避けるべき保管条件)

容器を密閉し、火気、熱源より遠ざける。

ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触並びに同一場所での保管を避ける。

ゴミ、水分などの混入防止のため使用後は密栓して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

情報なし

設備対策

排気装置を付けて、蒸気が滞留しないようにする

取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄用の設備を設ける

保護具

呼吸用保護具

換気が不十分な場合は、適切な呼吸保護具を着用すること。

手の保護具

耐油性（不浸透性）保護手袋を着用する。

眼の保護具

眼、顔面用の保護具を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

耐油性の長袖作業衣、安全靴を着用する。濡れた衣服は脱ぎ、完全に清浄にしてから再使用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	オイル性液体
色	ダークブラウン
臭い	鉱物油のような臭い
融点/凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	データなし
引火点	>200℃
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	90 mm ² /s
溶解度	不溶性
n-オクタノール/水分分配係数 (log 値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び/又は相対密度	0.96 g/cm ³
相対ガス密度	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	仕様通りに保管または使用した場合は、分解することはない。
化学的安定性	安定
避けるべき条件	混触危険物質との接触。
混触危険物質	強酸性物質、強酸化性物質、還元性物質
危険有事な分解生成物	煙、一酸化炭素、二酸化炭素、その他の不完全燃焼の生成物。

11. 有害性情報

急性毒性	データなし
皮膚腐食性/刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	データなし
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	データなし
誤えん有害性	データなし

12. 環境影響情報

生態毒性	データなし
残留性・分解性	データなし
生態蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし
他の有害影響	データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

残余廃棄物 関連法規ならびに地方自治体の基準に従って安全な方法で廃棄すること。

汚染容器及び包装 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
空容器は地域の条例に準拠してリサイクル、再利用または廃棄する。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号	非該当
品名	非該当
国連分類	非該当
容器等級	非該当
海洋汚染物質	非該当
MARPOL及びIBCコードによる ばら積み輸送される液体物質	非該当
輸送又は輸送手段に関する 特別の安全対策	非該当

国内規制

陸上規制情報	消防法の規制に従う。
海上規制情報	船舶安全法の規制に従う。
航空規制情報	航空法の規制に従う。
輸送又は輸送手段に関する 特別の安全対策	火気厳禁 水漏厳禁 横積厳禁 容器の破損、漏れがないことをたしかめる 荷くずれ防止を確実にを行う 該当法令に従い、包装、表示、輸送を行う 直射日光をさける 夏場の輸送時においては、熱い鉄板、地面等の上に直接置かないこと

輸送容器は衝撃を与えないように、ていねいに取扱う
転倒したり、激突させたりしない
重量物を上積みしない

15. 適用法令

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（化管法）	非該当
労働安全衛生法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	第四類第四石油類 非水溶性 危険等級Ⅲ
化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）	非該当
高圧ガス保安法	非該当
航空法	非該当
船舶安全法	非該当
海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律	油分排出規制
下水道法	鉱油類排出規制
水質汚濁防止法	油分排出規制
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物規制

16. その他の情報

記載内容は、現時点で入手した情報に基づいて作成していますが、記載データや評価に関してはいかなる保証をなすものではありません。
注意事項は、通常の手扱いを対象としたもので、特別な手扱いをする場合には用途、用法に適した安全対策を実施の上、手扱い願います。